

ノアサポートセンターお役立ち情報 <Vol.40>



今回のお役立ち情報は・・・

用法登録を追加する手順についてご案内いたします。

※V6・V7 をご使用のお客様が対象です。掲載しているシステムの画面イメージは V7 のものですが、V6 でも操作は同様です。

ノアメディカルシステム(株)製品をご利用のお客様向けの情報提供です。患者様への配布や、弊社ユーザー様以外の医療機関関係者のご使用は固くお断りさせていただきます。

用法登録の追加手順

1. 用法登録

用法登録画面を開きます。

メニュー マスター登録 → 用法登録

下図の赤枠部分は**必須入力項目**です。上から順にご入力ください。

※必須項目以外は、必要に応じて任意で登録してください。

図1 【v7】用法登録画面

※図 1 は NO@H FOR THE PHARMACY V7 での画面例です。V6 をご使用の場合も、入力内容は同じです。

※項目によっては、入力欄にカーソルを合わせると、青枠部分に選択肢(ガイドンス)が表示されます。

<必須項目の説明>

項目名	登録内容
① 用法コード	薬局内で使用する任意の「用法コード」を 3 桁～4 桁で入力し、 Enter を押下します。画面が「登録モード」に切り替わり、登録を開始できます。
② 用法名 略称名	追加する「用法名」を入力します。 「用法名」を入力して Enter を押下すると、「略称名」が自動入力されます。 ※自動入力された内容は、必要に応じて修正できます。

③ 電算レセコード 算定用コード	<p>F5 検索 から、該当するコードを選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■ 内服の場合 該当するレセプト用法コードを選択してください。 該当するコードがない場合は、「900:(未コード化用法)」を選択します。</p> <p>■ 内服以外の場合 「900:(未コード化用法)」を選択してください。</p> </div> <p>「電算レセコード」を入力して Enter を押下すると、「算定用コード」は自動入力されます。 ※後述のケース「2.1. 直前・直後」で変更が必要な場合は、修正してください。</p>
④ 剤型区分	該当する剤型区分を選択します。区分はガイダンス欄をご確認ください。
⑤ 服用時点 (内服のみ)	<p>該当する服用時点に「1」を入力します。</p> <p>※ 内服の用法のみ入力してください。 内服以外は入力不要です。</p>
⑥ 割数 (内服のみ)	<p>1日に服用する回数を入力します。</p> <p>服用時点を入力することで自動入力されますが、回数が異なる場合は修正してください。</p> <p>※ 内服の用法のみ入力してください。 内服以外は入力不要です。</p>
⑦ F9 更新	入力が完了したら、 F9 更新 を押下して保存してください。

※その他の項目は、必要に応じて薬局様の運用に合わせてご登録ください。

2. 用法登録のパターン例

2.1. 直前・直後（内服）

「毎食後」と「毎食直後」など、**服用時点が同一とみなされる用法**を同じ処方内で使用する場合は、薬剤調製料の算定に注意が必要となります。

<「調剤報酬点数表に関する事項」より一部抜粋>

区分01 薬剤調製料

「服用時点が同一である」とは、2種類以上の薬剤について服用日1日を通じて服用時点(例えば「朝食後、夕食後服用」、「1日3回食後服用」、「就寝前服用」、「6時間ごと服用」等)が同一であることをいう。また、食事を目安とする服用時点については、食前、食後及び食間の3区分とすることとし、**服用時点が「食直前」、「食前30分」等であっても、薬剤調製料の算定にあつては、「食前」とみなし、1剤として扱う。**

「毎食後」「毎食直後」をそれぞれ登録している場合は、**同じ算定用コード**を登録することで、薬剤調製料をまとめて算定できます。
 ※算定用コードを別にする、薬剤調製料の手動調整が必要になる場合があります。

- 「電算レセコード」と「算定用コード」の両方を同じコードで登録すると、レセプト上も同じ用法としてまとめて出力されます。
薬剤調製料はまとめて算定しつつ、レセプトでは別の用法として出力したい場合は、以下のように登録してください。

例) 「就寝前」と「就寝直前」を分けて出力したい場合

● 就寝前

電算レセコード「013:1日1回就寝前服用」、算定用コード「013:1日1回就寝前服用」

用法名 ※ 分1 就寝前

略称名 ※ 分1 就寝前

電算レセコード ※ 013:1日1回就寝前服用

算定用コード ※ 013:1日1回就寝前服用

● 就寝直前

電算レセコード「900:(未コード化用法)」、算定用コード「013:1日1回就寝前服用」

用法名 ※ 分1 就寝食前

略称名 ※ 分1 就寝食前

電算レセコード ※ 900:(未コード化用法)

算定用コード ※ 013:1日1回就寝前服用

更新時に、「**電算レセコードが指定された服用時点と異なります。このまま更新しますか？**」とメッセージが表示される場合があります。登録内容に誤りがなければ**する(+)**を選択して更新してください。



- 「電算レセコード」と「算定用コード」は、役割が異なります。
 - ・電算レセコード：レセプトへ出力される用法を決定します。
 - ・算定用コード：薬剤調製料を、どの服用時点として計算するかを決定します。

例) 用法名：「就寝直前」

- 「電算レセコード」の違い
 - ・「013:1日1回就寝前服用」→レセプトは「就寝前」として出力します。
 - ・「900:(未コード化用法)」→レセプトは用法名の「就寝直前」を出力します。
- 「算定用コード」の違い
 - ・「013:1日1回就寝前服用」→「就寝前」と同じ服用時点として扱います。同一処方内に「就寝前」と「就寝直前」があっても、薬剤調製料は1剤としてまとめて計算します。
 - ・「900:(未コード化用法)」→「就寝前」とは別の服用時点として扱います。同一処方内に「就寝前」と「就寝直前」がある場合、薬剤調製料は別剤として計算します。

2.2. 時間指定（内服）

時間指定の用法では、服用時点の登録は不要です。この場合、割数は自動入力されません。必ず手動で入力してください。

※割数は、1日に服用する回数を入力します。1日1回は割数「1」、1日2回は「2」をご登録ください。

例) 1日2回 9時・18時

図2【v7】用法登録画面 例)1日2回 9時・18時

用法名※	1日2回 9時・18時	
略称名※	1日2回 9時・18時	
電算レセコード※	900:(未コード化用法)	算定用コード※ 900:(未コード化用法)
薬情用法名	1日2回 9時・18時	
薬袋用法名		
剤型区分※	01:内服	
表示順	999	表示有無 1:有 文字表示色 文字表示色
電処用法コード		
旧電処用法コード		
英語表記用法コード		
服用時点	起床時 前 後 間	朝食 前 後 間
	昼食 前 後 間	夕食 前 後 間
		就寝前 0
		割数 2 (内服薬のみ必須)
		薬情服用BOX 1:有
		一包化除外用法 0:無

2.3. @用法（内服以外）

用法登録に「@」(半角アットマーク記号)を含めて登録しておくと、処方入力時に「@」の位置へカーソルが移動し、その部分に数値や文字を入力できます。

頻繁に回数や部位などが変わる用法を複数登録せずに運用できる便利な機能です。

例) 「1日1回 足に塗布」「1日2回 腕に塗布」

- ① 用法登録で、数値や文字を変更したい個所に「@」(半角アットマーク記号)を登録します。

用法名※	1日@回 @に塗布
略称名※	1日@回 @に塗布

- ② 処方入力で@用法を選択すると、用法名が表示され、最初の「@」の位置にカーソルが移動します。

そのまま文字を入力すると「@」が入力内容に置き換わります。

※2つ以上「@」がある場合は、Enterを押下するたびに、次の「@」へ移動します。

9050	外用	1日@回 @に塗布	10 g
9050	外用	1日@回 @に塗布	1 回

9050	外用	★○○○軟膏	10 g
9050	外用	1日1回 足に塗布	1 回

※用法コード欄に@が表示されます。

2.4. 用法コードの変更

登録済みの用法コードは、後から変更することが可能です。

- ① 用法登録画面の一覧から、コードを変更したい用法を選択します。
- ② **F4 用法変更**を押下します。
- ③ 「新用法コード」欄に変更後の用法コードを入力し、**Enter**を押下します。その後、**する(+)**を選択して更新してください。

図3【V7】用法変更画面

The image shows two screenshots of the 'Usage Change' (用法変更) screen. The left screenshot shows the input stage: 'Usage Name' (用法名) is '分1 就寝前', 'Usage Code' (用法コード) is '100', and 'New Usage Code' (新用法コード) is '160'. Below the input fields is the prompt 'New Usage Code please input' (新用法コードを入力してください) and three buttons: 'Do (+)' (する(+)), 'No (-)' (しない(-)), and 'Cancel (ESC)' (キャンセル(ESC)). An arrow points to the right screenshot, which shows the confirmation stage: the same input fields are present, but the prompt is now 'Do you change the usage code to the one above?' (新用法コードを上記に変更しますか?) and the buttons remain the same.

※用法コード変更後は、過去の処方も自動で新しい用法コードに変更されるため、処方入力の訂正は不要です。

注意事項



既に使用されている用法コードには変更はできません。(削除済みの用法コードも含まれます。)「**同じ用法コードが存在します。新用法コードを入力してください。**」とメッセージが表示された場合は、別の用法コードを指定してください。

ワンポイント



- その他の機能や項目については、納品時にお渡しした各種操作マニュアルをご確認ください。
- V7をご使用のお客様は、マニュアルをダウンロードしてご確認いただくことも可能です。

[メニュー](#)

[システム情報](#) → [操作マニュアルダウンロード](#)

本資料は制度や仕様の変更などで予告なく変更・削除される場合がございます。

調剤報酬算定や調剤行為ルールの解釈に係る部分につきましては「明文化されていない」「地域ごとの解釈ルールの存在」等により内容の正確性を保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接的に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。予めご了承のほどお願いいたします。



■ 本件についてのお問合先

ノアメディカルシステム株式会社 ノアサポートセンター TEL:092-283-5560

FAX 専用お問い合わせシートもご利用ください。(ダッシュボードの「FAX 問合せ」ボタンより印刷いただけます)